

## 組織

会長	鎌田 悟	(秋田北中学校)		
副会長	加賀谷 政広	(岩見三内小・中学校)		
事務局	菊地 有希子	(大住小学校)	渡部 英明	(勝平小学校)
	土門 正佳	(城南中学校)		
幹事	齋藤 未樹	(御野場中学校)	鎌田 政美	(土崎中学校)
会計	小柳 紀恵子	(山王中学校)		

## 主な事業

美術鑑賞研修会「P I C A S O ピカソ版画をめぐる冒険」展 (秋田市千秋美術館／5月16日)

大森山動物園 第40回親と子のふれあい写生大会 (大森山動物園と共催／7月21・22日)

秋田県児童生徒美術展秋田市審査 (泉中学校／12月8日)

クロッキー巡回展：市内各小学校 (審査：保戸野小学校／12月27日)

## 研究会の記録

## ○秋田県児童生徒美術展秋田市審査12／8 (水) 泉中学校

例年どおり、秋田県児童生徒美術展秋田市審査を行った。この審査会は、展覧会の審査であるとともに、指導力向上のための研修の場でもある。多くの会員が参加し、作品について語り合った。

今年は、秋田市内の小・中学校合わせて63校からの作品が出品された。どの作品にも様々な工夫や思いが詰まっているが、各学年それぞれ出品数の30%しか選べない。製作過程や子どもの思いを読み取ることに努めて、会員皆で真剣に話し合いながら、時間をかけて審査が行われた。

## ○水曜研修会2／6 (水) 秋田市教育研究所

「知っているようで知らない『秋田の行事』」～レプリカを使った出前授業体験～

県立美術館より、原田久美子学芸課長、小泉俊貴学芸員、佐々木佳苗学芸員をお迎えして藤田嗣治の作品を用いた鑑賞研修を行った。県立美術館に展示されている「秋田の行事」の解説が聞ける機会とあって、造形会員以外の先生方からの参加もあった。

原田課長からは、藤田嗣治の画業について何点かの作品を用いての説明があった。嗣治が浮世絵に影響を受けたことや、布に対して興味が高く、それが作品に効果をもたらしていることなど、興味深い話を聞くことができた。

次に、小泉学芸員より「秋田の行事」のレプリカを使った解説があった。描かれている内容を「子どもにも分かりやすく」という観点で細かく説明していただき、改めて作品の良さを発見する機会となった。特に「この作品をとおして、子どもたちが地域への関心を高めるきっかけになれば」という言葉が印象的であった。

